



キリストの香り

私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神に献げられた芳しいキリストの香りなのです。滅びる人々にとっては、死から出て死に至らせる香りであり、救われる人々にとっては、いのちから出ていのちに至らせる香りです。(コリント人への手紙第二 2章 15-16節、新改訳 2017)

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子



1984年、スペイン留学中に私を救いに導いてくださったアメリカ人宣教師夫妻からは、さまざまな面で弟子訓練を受けました。

その一つが、「キリストの香り」を放つ者となれ、ということでした。住居も、贅沢はせず質素で、しかし、大統領が来ても物乞いが来ても、「ここにはキリストがおられる」と感じさせる清い家を整えなさいと言われました。その時から、「キリストの香り」を放つ者、住まいも教会も「キリストの香り」を放つ場とすることを意識するようになりました。

しかしながら、本当の意味でキリストの香りを放つとは、当初考えていたような、表面的なものではないことを次第に理解するようになりました。

冒頭の御言葉で語られているのは、献げ物の香りです。キリストが十字架でご自身を献げられたように、私たちも自分自身を全焼のいけにえとして献げるとき、滅びる人々にとっては死から死に至らせる香りとなり、救われる人々にとっては命から命に至らせる香りとなるのです。

さらに厳粛さを覚えるのはパウロがその次に語る言葉です。「いったい、このような任務に、だれが耐え得ようか。」(16節後半、口語訳)「わたしたちは、多くの人のように神の言^{ことば}を売り物にせず(新改訳では、「混ぜ物をして売ったりせず」)、真心を込めて、神につかわされた者として神のみまえて、キリストにあって語るのである。」(17節、口語訳)つまり、キリストの香りを放つ任務に携わる者は、神の言葉に混ぜ物をして売ったりせず、真心を込めて、神に

遣わされた者として、神の御前で、キリストにあって語らなければならないのです。そのような者こそ、キリストの香りを放つ任務に耐え得る者、ふさわしい者ということなのです。

「キリストの香り」を放つためには、祭壇の火を燃え続けさせなければなりません。祭壇の火とは聖霊、賢い5人の乙女のように聖霊を絶やさないこと。聖霊を絶やさないと、いのちである神の言葉をいつも心に貯え、その言葉に従い、行うことです。

人を生かすものは霊であって、肉はなんの役にも立たない。わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、また命である。(ヨハネ 6:63、口語訳)

その火で、日々、自分の肉の欲、肉の思い、肉の感覚を焼くのです。それがキリストに仕える者たちが献げる香りの献げ物であり、そうやって、私たちはキリストの香りを放つことができるのだと思います。

自分の賛美も、教会の賛美も、そのような者とされていく中で、神が受け入れてくださる薫香となることを切に祈り求めます。まずは自分から、そして教会から。日本中の教会の賛美と祈りが絶えず神のもとに立ち上る香ばしい香りとなり、かの日には、この日出る国にキリストが立ち上がってくださいますように。

こうして、人々は西の方から主の名を恐れ、日の出る方からその栄光を恐れる。主は、せき止めた川を、そのいぶきで押し流すように、こられるからである。(イザヤ 59:19、口語訳)

今日まで守られ

～笹尾 鉄三郎とリバイバル～

『今日まで守られ』

(聖歌 292番、新聖歌 171番)

作詩：笹尾鉄三郎、作曲：Asahel Nettleton

1. 今日まで守られ 来たりしわが身

露だに憂えじ 行く末などは

如何なる折りにも 愛なる神は

すべての事をば 善きにし給わん

2. か弱き者をも 顧み給う

わが主の恵みは この身に足れり

賑おう里にも 寂しき野にも

主の手にすがりて 喜び進まん

3. 主の日ぞいよいよ 間近に迫る

浮世の旅路も しばしの間のみ

間もなく栄えの 御国に行きて

永遠に絶えせず わが主と住まわん

の前身である「慶應義塾」で学びました。そこで、福澤諭吉に後任の依頼を受けますが、貿易商になることを目指していた彼はその申し出を断り、1888年にアメリカに留学しました。

サンフランシスコで部屋を提供してくれたのはダージ牧師夫妻でした。鉄三郎は夫妻から福音を聞き、二人の熱い祈りによってイエス・キリストを信じました。1890年に洗礼を受け、当地の日本人に福音を伝えるようになりました。その年、サンフランシスコでは大リバイバルが起きました。

鉄三郎がシアトルで伝道していた時、祈りの中で、日本に帰って福音を伝えることを強く示され、1894年、26歳の時に日本に戻りました。帰国後は、バックストーン宣教師を助け、日本の各地で伝道集会を開くようになりました。同時に英語の賛美歌を日本語に翻訳し、また、「今日まで守られ」「しみも咎も」「ひとりの御子を」「墨よりも黒き心なれど」など、多くの賛美詩を書きました。

1901年からは、聖書学院（後の東洋宣教会聖書学院、1945年に空襲で焼失）で教えるようになりました。また淀橋教会の初代牧師となりました。その後1913年に、巡回伝道の働きに専心するため、聖書学院の教師と牧師職を辞任しました。学院を去る時、鉄三郎は生徒たちに次の言葉を残しました。

諸君、伝道は生命がけなのです。福音には必ず生命を添えなければなりません。生命をもってなされる時、初めて神様のご栄光が現われます。同胞6千万の人々が、諸君の伝道によってのみ神を知るのです。他



笹尾 鉄三郎 (1868-1914)

聖歌「今日まで守られ」の作者、笹尾鉄三郎は1868年9月30日、現在の三重県津市に、代々庄屋の家に5番目の末っ子として生まれました。病弱で、肺炎で何度も生死を

さまよいましたが、小さい頃から頭脳明晰であった彼は、

工藤篤子 賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWMホームページまたは事務局まで



主よ人の望みの喜びよ

定価 1,500円 (税込)

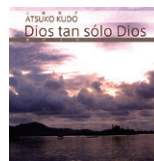
「主よ人の望みの喜びよ」「マタイ受難曲アリア」「メサイヤ・アリア」「キリストにはかえられませんが」「アメイジング・グレイス」「主の祈り」など、たましいの歌 12 曲。



よき力に守られて

定価 2,500円 (税込)

ポンヘッファーの「よき力に守られて」を中心に、「あなたに」「神の恵み」「詩篇 23 篇」「ああ感謝せん」など 14 曲。



神だけが Dios tan solo Dios

定価 2,500円 (税込)

「安けさは川のごとく」「赤とんぼ」「荒城の月」「黄金のエルサレム」「私を平和の道具としてください」などライブ録音 12 曲。



カンシオン Canción

定価 2,500円 (税込)

「きみは愛されるため生まれた」「とこしえに真実なお方」「救い主イエスと」「なんて美しい都（ゴスペル）」などライブ録音 14 曲。



Come To Me

定価 3,000円 (税込)

「鹿のように」「安けさは川のごとく」「Via Dolorosa」「輝く日を仰ぐとき」「カドシュ」「いちわのすずめ」「アメイジング・グレイス」など 18 曲。



讚美 Adorar

定価 1,500円 (税込)

中国語、台湾語賛美を中心とした「鹿のように」「丘に立てる荒削りの」「主は今生きておられる」「耶和華祝福満満」「主よ人の望みの喜びよ」「鳥のうた」など 12 曲。

の方法によっては神様は働かれませんか。かつて、私は救われてアメリカで伝道に励んだ時、かの地において、大いなるリバイバルを体験しました。この日本においても、期待をもって使命に歩んでください。生命がけで伝道に前進してください。

病弱な体を押して伝道に心血を注いだ鉄三郎は、1914年に鹿児島での働き最中に倒れ、その一か月後の12月30日、「リバイバルを、リバイバルを」とつぶやきながら天に召されました。

リバイバル

私が1984年にスペインでアメリカ人宣教師を通して救われた時、最初の頃に受けた学びの一つが、Avivamiento「リバイバル」でした。リバイバルとは命の復興、復活という意味です。人々、地域、国々のリバイバルを祈り求め、伝道に励むことは、尊い十字架の贖いによって救われ、イエス・キリストの命を受けた者の使命なのだと教えられました。1987年に、ドイツに宣教地を移す宣教師夫妻に同行した際には、「伝道とは生命を捧げること。その覚悟で来てほしい。」と言われました。笹尾師と同じ言葉です。

サンフランシスコでリバイバルを体験した笹尾鉄三郎は、日本のリバイバルを夢見て帰国しました。体の弱さを顧みずに全国津々浦々を巡ったのもそのためです。

か弱き者をも ^{かえり}顧み給う
わが主の恵みは この身に足れり
賑おう里にも 寂しき野にも
主の手にすがりて 喜び進まん

彼にとって、日本のリバイバルのために生命を捧げ ^{いのち}た伝道は、主の御手に縋る働きであり、度重なる病の苦しみに勝る喜びであったに違いありません。

主の日ぞいよいよ 間近に迫る
^{うきよ}浮世の旅路も しばしの間のみ
間もなく栄えの 御国に行きて
^{ときわ}永遠に絶えせず わが主と住まわん

そして浮世の旅路を終え、いよいよ栄えの御国に向かう時、「リバイバルを、リバイバルを」という遺言の言葉を私たちに残して御父の元に帰りました。

今の日本の私たちはどうでしょうか。愛国心もそれほど強くなく、日本のために熱心に祈る人もそう多くはないように思います。けれども、日本のリバイバルを求める火は消えてはいません。欧州のクラシック音楽界の第一線で活躍していた女性は、日本のリバイバルのために帰国し、熱心に教会に仕えています。心と力を合わせて日本のリバイバルを祈る教会ネットワークもあります。

リバイバルを切に願うのは、何とかして一人でも多く永遠の御国に入って欲しいからです。教会がキリストの花嫁として迎え入れられ、部族、民族、国語、国々が、神がそれぞれに与えてくださった栄光を携えて御国に入って欲しいからです。そのために、神であられる方が、ご自分を空しくしてしもべの姿をとり、人としての姿をもって現れ、自らを低くして、十字架の死にまで従ってくださったのです。

世界各地で大リバイバルを導いたジブシー出身の偉大な伝道者、ロドニー・“ジブシー”・スミス(1860-1947)に、ある代表団が尋ねました。「私たちの地域でリバイバルを起こすにはどうすればいいのでしょうか？」ロドニーは答えました。「家に帰って自分の寝室に閉じこもり、チョークで床に円を描きなさい。その円の中にひざまずき、神がその円の中でリバイバルを始めてくださるように、熱心に祈りなさい。そこからすべてが始まるのです。顔を伏せて『まず私から始めてください！』と祈るのです。」



リバイバルはまず私から、伝道とは生命を捧げること、福音に生命を添えること。今ひとたび信仰の原点に立ち返り、福音を伝えて行きたいと、思いを新たにさせられています。

賛美セミナーDVD CDも好評発売中



賛美セミナー II
DVD 2 枚組

2015年11月7日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 詩篇から学ぶ賛美
2. 賛美のいけにえ・キリストの賛美
3. ロックの起源・歴史とその影響
4. いろいろなるリズムとことばに即した賛美実演(野田常喜)



賛美セミナー I
DVD 2 枚組

2013年11月4日大阪セミナー録画
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)



賛美セミナー I
CD 4 枚組

2013年11月9日東京セミナー録音
(テキスト付)
定価 4,000円(税込)

1. 賛美とは
2. 詩篇 51:50 (悔い改めを通してささげる賛美)
3. ビート音楽の影響
4. 音楽と聖書

"※ 内容は DVD CD 共に同じです。"

賛美セミナー II と 賛美セミナー I のアイテムを併せてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討いただける教会・団体がございましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。

10月 Oct.

18日(日) 宝塚栄光教会 賛美コンサート 15:00~

11月 Nov.

3日(火祝) 高槻一麦教会 工藤篤子コンサート 14:00~

28日(土) 伊那福音教会 クリスマス・コンサート (長野県)
13:30~

12月 Dec.

8日(火) VIP 関西定例会 クリスマス集会 19:00~
場所: VIP 関西センター 9F15日(火) シャローム恒例クリスマス会 18:00~
(大阪堺市の介護ホーム「晴れる家」)24日(木) 主イエス・キリスト教会
クリスマス・イヴ・コンサート (大阪市) 18:45~

愛する皆様へ

いつも AKWM の働きのためにお祈りお支えくださり、心からのお礼を申し上げます。

大阪は、梅雨明けに伴い厳しい暑さになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

6月は妹を連れて札幌に行っていました。札幌の教会、妹がお世話になった事業所、グループホームなどを訪問し、さわやかな気候の中、とても良い数日を過ごすことができました。その後、妹が肺炎になりましたが、随分良くなりました。これから心房細動（不整脈の一種）のアブレーション治療なども控えていますので、妹の健康回復のためにお祈りいただけますなら感謝です。

● クリスマス・ミュージカル

今年に入って、大阪の教会では、一般の方々にも参加を呼びかけ、またプロの指揮者・音楽家を指導者にお招きして、「ハレルヤ合唱団」を結成しました。その後、子どもたちや更に多くの参加者を募り、12月にはクリスマス・ミュージカルを上演したいという思いが与えられました。そこで、これまでいくつかのミュージカルを制作・上演して来られたゴスペル・シンガーの吉村美穂さん、ピアニストの野田常喜さんに相談させていただいたところ、お二人にご協力をいただけることになりました。

ミュージカル演目は、The First Christmas ～世界で最初のクリスマス～（脚本：吉村美穂、作曲：野田常喜）で、昨年12月には太平洋放送協会PBAのテレビ番組「ライフ・ライン」にも取り上げられました。只今準備に奮闘中です。このミュージカルを主が祝し、多くの方々への伝道のために用いてくださいますようお願いください。

● 歌のレッスン

これまでクリスチャンの生徒さんがほとんどでしたが、最近は、福音をお伝えするために、一般の方々のレッスンもするようになりました。少しずつ福音を伝えるチャンスが増えています。

声はいただくもの、いただいた声を神に捧げる、肉の力（顎、舌）を抜き、頭（頭声発声）、つまり骨に響かせる、肉から離し空間に響かせる、等々、美しく響く声は、信仰の生き方そのものです。12月のミュージカルには、歌の生徒さんも何人か出演する予定です。どうぞレッスンを通しても、多くの方々が救われますようお祈りください。

これから秋・冬のコンサートの準備に取りかかります。お祈りください。

この夏、皆様の健康が守られ、感謝と恵みに溢れる日々を過ごされますように。

主の祝福をお祈りしています。

工藤篤子



工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ 事務局

Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金とご奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様のこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

事務局

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ」

銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)

普通預金0133752 「工藤篤子ワースhip・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。また、事務局にご連絡いただけますなら感謝です。



メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。

メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL

https://akworship.com/

※URLが変わりました。ブックマークの変更をお願いします。